

日本ロレアルが内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」に賛同 性暴力の根絶を目指し、啓発活動を展開

世界最大の化粧品メーカーである仏・ロレアルの日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェローム・ブリュア)は、内閣府男女共同参画局が毎年11月に推進する「女性に対する暴力をなくす運動」に賛同し、本日11月12日(木)~25日(水)までの2週間、広報・啓発活動を推進、「女性に対する暴力」を許さない気運の醸成を目指します。

内閣府の推進する「女性に対する暴力をなくす運動」は、毎年「女性に対する暴力撤廃月間」にあたる11月に展開され、11月12日(木)から25日(水)(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間、関係団体との連携、協力の下、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化するための広報活動を実施しています(平成13年6月5日男女共同参画推進本部決定)。「女性に対する暴力をなくす運動」は、社会の意識を喚起するとともに、女性の人権尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることにより、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発を強力に推進することを目的としています。

今年は、「性暴力を、なくそう」というテーマのもと、内閣府、地方自治体、企業が連携し、ポスターの掲示やリーフレットの配布、全国のランドマークを「女性に対する暴力の根絶」のシンボルカラーである紫色に点灯するパープル・ライトアップを実施するなど、各自、啓発活動を実施します。

ロレアルグループは、長年ダイバーシティー&インクルージョンを企業文化の根幹と考え推進しており、「2020 リフィニティブ ダイバーシティー&インクルージョン・インデックス」で世界トップ10にランクインするなど、本分野における革新的な企業として高い評価を受けています。今回の「女性に対する暴力をなくす運動」への賛同に際し、ポスターの掲示などを通して、社員に対する意識の喚起を促進するほか、イヴ・サンローラン・ボーテ(YSL)とロレアル パリがブランドとして、消費者にSNSを通じた啓発活動を展開、またYSL 都内主要店舗でビューティー・アドバイザーがパープルリボンバッジを着用し、旗艦店でキャンペーンステッカーを配布するなどを通して、性暴力に関する社会的意識の喚起を醸成します。

「女性に対する暴力をなくす運動」に賛同するにあたり、日本ロレアル 代表取締役社長 ジェローム・ブリュアは次のように述べています。
「今回、内閣府の推進する『女性に対する暴力をなくす運動』に賛同させていただくことを、大変光栄に思っています。ロレアルでは、ダイバーシティー&インクルージョンを企業文化のDNAと考えており、女性のエンパワメントは、当社の成功や革新的な精神を持続していくために欠かせない要素です。今回の取組を通して、皆さんに性暴力について考え、対話するきっかけとなればと思っています。」

《参考》内閣府・女性に対する暴力の根絶サイト

- ・今年度の運動の詳細(自治体の取組予定一覧の詳細等)
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/no_violence_act/index.html
- ・「性犯罪・性暴力」の詳細:
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/seibouryoku/index.html
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/seibouryoku/measures.html
- ・昨年度のパープル・ライトアップ写真:
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/no_violence_act/about_r01.html#purple

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/>)

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2019年時点での社員数は、2,670人、2020年10月現在の取り扱いブランドは17です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。

ⁱ プレスリリース「仏・ロレアル リフィニティブによる世界で最も多様性と受容性を備えた企業ランキングの上位 10 にランクイン」
http://news.nihon-loreal.jp/press/J%20PR_Refinitiv_20201002.pdf